長生村議会議員

石井としお通信

ホームページは「石井としお」で検索

2019 年 4 月　127 号
石井としお後援会発行
部内討議資料
長生村七井土 1387-2
電話 090-3094-0321

村の予算合計 97 億 3,980 万円
平成 31 年度一般・特別会計決まる
―3 月議会終了・一般質問などの報告―

例年より桜が早く咲いて、門出の 4 月、新入学・新社会人の皆様おめでとうございます。それぞれの場所に早くなれて、ご活躍下さい。

今号は 3 月 5 日(火)～8 日(金)に開かれた村議会での石井としお議員の質問内容を中心に、報告します。

議会に説明された交流センターのイメージ

31 年度の当初予算内訳

⑴ 一般会計の総額は 58 億 1,300 万円

特別会計の合計 39 億 2,680 万円と合わせますと 97 億 3,980 万円が執行部から提案され、賛成多数で可決されました。

⑵ 31 年度の新規事業は 3 つ実施

① プログラミング教育用の教材購入事業 201 万円。これは「児童がコンピュータ―処理を行う際必要な論理的思考を身につける為の学習ソフトウェア購入」です。

② 長生っ子キャリアアップ推進事業 41 万円。「小・中学生が英語、数学の検定 3 級以上を合格した時の補助」です。

③認知症あんしん生活実践塾。総額 100 万円。認知症についての正しい知識を学習していくものです。事業への延べ参加人数は 100 名を見込んでいます。

評価点もあったが反対

評価点は①新規事業を 3 つ取り入れたこと。②高校生までの医療費無料。③福祉タクシー事業。昨年の 9 月議会で質問した④危険ブロックの改修費補助 400 万円、など。(昨年の 9 月議会で質問)評価できない点は❶デマンド乗り合いタクシー事業が入っていない。❷駅南北通路設計費 1000 万円が計上されている。【石井としお後援会の考えは、駅南口の改良が終了した時点で一旦休止。村民の評価を聞き、その後の駅南北通路や北側の整備を判断すること、です】加えて、以下の三点の予算化がありません。❸保育料無料❹学校給食費無料❺小学校の給食室、体育館、特別教室へのエアコン設置など、一般会計に反対しました。

石井としおの一般質問

1、旧原種農場跡地利用を質問

石井　旧原種農場の所有、広さ、現状の使い方、空いている所があるか、利用す

る考えがあるのか、伺います。

小高村長　旧原種農場の所有は県です。22ヘクタールの内、17ヘクタールを県園芸協会などが使っています。5ヘクタールが未利用。遊休農地の対策も進まないので、当該地を利用する考えはない。

石井　有効利用の提案です。旧原種農場は県道に隣接し平らな農地です。県の担い手支援課に面会しますと「村からの申し出があれば上部と協議し貸すこともある」とのことでした。有効利用方法は、新規就農者を募集し、施設園芸ハウスなどで「トマト、メロン、イチゴ」などを栽培する。路地には野菜や果樹を植える。自活できるようになれば道路沿いに直売場を設置し、村営レストランを作り、観光で人寄せする。つまり、生産から直売まで行う6次産業へとつなげていくことです。村の考え方を、伺います。

旧原種農場の未利用地〇印

産業課長　希望する民間団体があれば、状況により判断したいと考えます。

石井　3年前に静岡県の伊豆フルーツパークを視察しました。温室でイチゴやメロンを栽培し、路地ではミカン栽培をしていました。観光客でにぎわっていました。会社の営業担当者に話を伺いますと「現在、支店を山梨に出した。今後、競合しなければ支店を増やしたい」とのことです。民間企業が参入したいと、なれば旧原種農場跡地に誘致して村の活性化につながるかと思います。村長の考え方を伺います。

村長答弁　石井議員が確かに県まで出向いた話は聞いています。石井議員が最後まで責任をもてばいいのですが、まずは遊休農地対策です。その後必要であればと思っており、ゼロ回答ではない。

2、お悔やみワンストップを質問

死亡届後の手続きが大変だという話がありますので、手続きの簡略化と寄り添うサービスを始めている役所があります。

石井　お悔やみワンストップサービスは別府市ではじまり全国に広がっています。先月、神奈川県大和市を視察してきました。大和市は人口23万人で4人の臨時職員で対応していました。現地で知りえたことを紹介します。市民課では、ご遺族支援コーナーを予約制とし、葬祭業者が死亡届にくると必要書類一覧表を渡す。遺族が電話予約し相談コーナーにくる。前段で関係各課と連絡し必要書類の作成を準備しておく。予約日にご遺族がコーナーに来て必要書類をもち、付き添いの臨時職員が寄り添って同行する。「いままでは半日かかった手続きと、2回、3回の来庁が、一回、90分で終わるようになった」とのことです。村も導入する考えがあるか、伺います。

住民課長　関係書類の手続きについては住民課が説明し窓口が異なる場合には担当課への案内を行っています。改めて「お悔やみワンストップサービス」というコーナーを作る考えはありません。

石井　大和市では市長が職員に3ケ月で準備させ、昨年の10月から始めています。問い合わせが今まで500件を超えています。職員は「お金もかからないし、こんないいことは断れない」と言っていました。導入する考えはありますか。

住民課長　先ほど、村長が申し上げましたとおり、今のところ取り入れる考えはありません。

石井　大和市のアンケートでは「60件・

93.8%が満足」職員からも「楽になった」とのこと。葬祭業者に渡す資料を比べますと、村は役場内への必要書類案内です。大和市を見ると役所外の必要手続も案内している。改善したらどうか。

大和市役所

住民課長　役所外の手続きなどは課内で協議し、過不足があれば今後、見直しを行います。

石井　答弁では「村もご遺族に寄り添い心がけている」とのこと。ある村民からは「あっちに行ってください、では、わからなくて困った」という方がいました。寄り添いが不十分ではないか。

住民課長　わからない方には、関係各課への案内を、今後は、一緒に寄り添って、ご案内をします。

石井　村が仮にお悔やみワンストップサービスをやるとしても臨時職員1名で対応できるかと思います。検討お願いします。

3、学校給食の安全性を質問

石井　保育所では「小麦粉は9割がアメリカ産で、豆腐などに使われる大豆もアメリカ産」とのこと。外国から入る食料は船で運ばれ心配です。検査と結果を伺う。

健康推進課長　国からは「平成３０年４月から９月までの間、輸入食品の届出件数122万8569件に対し、10万3262件の検査を行い、385件の違反があった。違反の内訳は、残留農薬や添加物の使用基準などの食品の規格違反が249件、指定外添加物の使用に関する違反が９件、食肉の衛生証明書の添付に関する違反が２件」とのこと。なお、県内検査では残留農薬と放射性物質検査でも基準値内です。

石井　外国産を検査した結果「残留農薬や添加物、食肉などに関する違反があった」とのこと。やはり外国産は危険なものが混入していました。次に、学校で使う肉の調達です。一次答弁では「豚肉、鶏肉は国内産を使っている。牛肉はオーストラリア産を使っている」とのこと。理由は。

学校教育課長　国産より安価で品質の安全性が確保されているからです。

石井　「オーストラリア産はEUに輸出する場合は厳しい検査なので成長ホルモンを入れないで輸出。日本は検査が緩いので成長ホルモン入りを輸出」という話を東京大学の鈴木宣弘教授から聞きました。オーストラリアの牛肉は成長ホルモンを使った牛肉なのか。

学校教育課長　業者に確認すると、「成長ホルモンを使用していないという証明は出していないが、農薬と動物用医薬品に対する日本の残留基準値制度に適合した牛肉を使用している」とのことです。

石井　「成長ホルモンを使っていない証明は出ていないが」「残留基準値制度に適合した牛肉を使用している」つまり成長ホルモンを使っています。「EUではアメリカから成長ホルモン入りの牛肉を中止してから、7年間で乳ガンの発生が45%減った」と鈴木教授の報告もあります。今後は、どう対応するのか伺います。

学校教育課長　世界保健機関からは「成長ホルモンを使うアメリカでも乳がんは下がっている。残留基準値内であれば、人が

一生涯、毎日摂取しても問題はない」とのことで、安全性は確保されていると考え、現在のところ変更する考えはありません。

石井　いつ、どこで、だれがオーストラリア産の牛肉を検査しましたか、伺う

学校教育課長　厚生労働省からは「輸入食品監視指導計画にもとづき、モニタリング検査をした結果、成長ホルモンの残留も検査している。2006 年～2017 年までの違反はなかった」との報告でした。

石井　見解がわかれました。鈴木教授によると「昔は検査していたが、今は検査をしていない」と言っています。今後、調査を続ける必要があります。次に遺伝子組み換えについて伺います。アメリカは大豆と菜種は 8%が否遺伝子組み換えです。8%の大豆を使用しているのか伺います。

学校教育課長　学校で使う大豆は「遺伝子組み換は使っていない」とのことでした。

健康推進課長　保育所では豆腐製造業者に確認しますと「栃木県産とアメリカ産の大豆を使っているが、遺伝子組み換えではない」とのことでした。

石井　村も栄養士さんも安全なものを使う努力に対し評価します。給食で使う食材はできるだけ外国産ではなく国内産を使うこと、遺伝子組み換え原料は今後も一切使用しないこと、牛肉のオーストラリア産は成長ホルモン入りなので使用を辞めるべきと考えます。

小高村長　食は信頼が第一です。安全性を追求し安価なものを選びたい。

沖縄知事表敬訪問
1 月 29 日

玉城県知事　安倍政権は辺野古の埋め立てを強行しています。2 月 24 日の県民投票の結果、反対が多ければ政府に伝え、辺野古埋め立てを阻止したいと考えています。※今後も、米軍基地の過密などで不当な扱いを受けている沖縄の方々を支援し続けることをお約束しました。※県民投票の結果は投票者の 72%が辺野古埋め立てに反対でした

編　集　後　記

◆3 月議会では福島原発で発生した除染土を全国の公共事業で再利用することに反対する請願を紹介議員「関・石井」で提出しました。賛成は「関、塩谷、門口、岩坂、石井」の 5 人でした。
◆31 年度の公共下水道会計では「今後も全村公共下水道で進む」とのことでした。石井議員は「住居が点在する地区は財政の問題があるので計画の見直しが必要」と、発言し 31 年度の下水道会計に反対討論をしました。
◆5 月 19 日(日)午後 2 時より文化会館 2 階視聴覚室で石井後援会の総会を開催します。当日入会の方も歓迎します。
◆5 月 18 日(土)午後、弁護士による無料法律相談を実施します。
申し込み先　090-3094-0321(石井まで)